

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	広聴活動事業				事業番号	001-005	
担当部署名	政策局	局	広報戦略部	部	市政情報課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(16)平和と公正をすべての人に	ターゲット	16.7	
			有	取組	広聴活動の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 38 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市市政への提案箱制度要綱、堺市パブリックコメント制度要綱、堺市市政モニター設置要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区、出先機関					
6	事業の対象	市民ほか市政に関する意見を持つ者				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	広聴活動の充実により、市民ニーズを的確に把握し、市民の声を市政へ反映させ、市と市民との信頼関係を構築する。また、市民の市政参加を促し、協働社会の実現をめざす。					
8	事業内容	市政への提案箱や要望書等により、寄せられた市民ニーズを「市民の声」共有システムにてデータベース化することにより把握する。また、市政モニター制度、パブリックコメント制度等で寄せられた意見についても関係所管課と情報共有し、迅速・丁寧に対応を行い、市政運営の参考に活用する。 広聴業務にかかる職員（広報広聴委員、主任、副主任等）への研修を実施し、職員の対応力向上を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	「市民の声」共有システム保守運用業務等委託事業者、市政モニターアンケート業務委託事業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	堺市ホームページ「市民の声Q&A」に記載の市の考え方に対する理解	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	79.5	93.3		
			達成率	88%	104%		
	当該指標を選定した理由	市民の声に対する市の考え方を適切に市民へ情報発信できているか測定するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各年市政モニターアンケートでの「市民の声Q&Aに記載の市の考え方に対する理解」の設問への回答のうち「よく理解できた」及び「理解できた」の割合を合算し、90%以上の方から理解を得ることを目標としている。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	5	5	5	
			実績値	5	5		
	当該指標を選定した理由	本市へ寄せられる市民等からの意見・提案・要望・苦情に関して、所管職員が適切に対応できるよう研修等を行っているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市職員への研修等の回数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		広聴活動事業				事業番号		001-005	
-------	--	--------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

13	財源内訳	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算		決算		当初予算		当初予算	
		事業費 (a)	3,714		5,624		4,630		3,518	4,930
		国支出金	0		0		0		0	0
		府支出金	0		0		0		0	0
		市債	0		0		0		0	0
		その他 ()	0		0		0		0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0	0	
	一般財源	3,714		5,624		4,630		3,518	4,930	
	14	人件費 (b)	26,900		26,800		28,200		28,200	29,400
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	30,614		32,424		32,830		31,718	34,330	

事業費の内訳

(単位：千円)

16	事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		委託料	R7	決算	3,518	3,518		R7	決算		
			R8	予算	4,899	4,899		R8	予算		
		建物借上料	R7	決算	0	0		R7	決算		
			R8	予算	31	31		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
	R8		予算			R8		予算			
		R7	決算				R7	決算			
R8		予算			R8		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位	令和6年度	令和7年度
	① 市政への提案箱への投稿数	件	1,142	1,175
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,774	13,362
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	11,186	11,372
	算出についての説明等	「市民の声」共有システムの管理運営費用、人件費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

市政への提案箱投稿数の増加率よりも人件費上昇を要因とした年間経費の増加率が上回ったため、単位当たり経費は微増した。
しかしながら、広聴業務に係る市職員への研修・周知を5回実施し、活動指標の目標値を達成したことで、市民の声の受付から所管課への対応依頼、市民の声Q&Aの公開までの一連処理に係る市職員の対応力の維持・向上につなげることができた。
その結果、所管課が作成する市民の声Q&Aの理解度が93%となり、効果的に事業を実施できている。
一方、所管課作成の市民の声Q&Aは当課で確認しており、相応の時間を要しているため、効率的な処理ができるよう改善を図る。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

市政への提案箱に投稿された1,175件の意見・要望を「市民の声」共有システムで一元化し、所管課へ迅速につながること、市民ニーズの把握に寄与した。
また、市民が市政への提案箱へ投稿した後、市の考え方を分かりやすく市民の声Q&Aとして、市ホームページで公開することにより、市民との信頼関係の構築及び市政参加の促進に寄与した。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20

必要性

■ 高い
□ 低い

有効性

■ 高い
□ 低い

令和7年度までの5年間における市ホームページ「市民の声Q&A」に記載の市の考え方に対する理解の平均値は85%であり、令和3年度の88%と同程度の水準を維持している。市の考え方を分かりやすく継続的に発信できていることにより、市と市民との信頼関係の構築に寄与しており、本事業の必要性・有効性は引き続き認められる。